

# 国語 第5学年 事実と感想、意見とを区別して、説得力のある提案をしよう

## 検討会の想定問答

**指摘 1：**この単元で身に付けることは何か。

**返し：**学校や暮らしをよりよくする学習の提案を、確かめた事実、自分の感想、提案の意見に分けて構成する。相手に賛成を求める前に、なぜその学習が必要かが根拠から伝わる話にする。A(1)イの学習として、提案の構成メモ。問題、事実、感想、提案、見込める変化とまだ確かめたいことを区別する。

**指摘 2：**何をもって学習できたと判断するか。

**返し：**おおむね満足できる状況は、事実と感想、意見を区別し、提案の必要性が伝わるように話の構成を考えているという姿で捉える。語句や本文を示さず結論だけ述べる場合は、根拠を確かめる支援を行う。発言の回数や記述の長さでは判定しない。A(1)イの姿を本時の発言と記録に照らす。

**指摘 3：**活動が楽しいだけで終わらないか。

**返し：**提案の構成メモを残す。問題、事実、感想、提案、見込める変化とまだ確かめたいことを区別する。活動後に、どの言葉を根拠にしたかを確認することで、A(1)イに関わる学習の中身を確認する。

**指摘 4：**難しさのある児童にはどんな支援をするか。

**返し：**みんなが望んでいるなど末調査のことを事実として話す。提案の説明が長く、理由との関係が見えない。これについて、メモを「確かめたこと」「感じたこと」「提案」に分類する。事実の欄には確かめた方法を添える。調べられないことは未確認として述べ、数字や多数派の意見を作らない。〔知識及び技能〕(1)イとA(1)イを切り離さず扱う。

**指摘 5：**考えが違ったときはどう扱うか。

**返し：**教師の結論を選ばせず、「提案の理由になっているのは、確かめた事実ですか、自分の感想ですか。聞く人が区別できる順序や言い方になっていますか」に戻す。言葉や本文で確かめられる点と、個人の感じ方を分け、A(1)イに関わる根拠を話し合う。

**指摘 6：**本時の評価で態度まで決められるか。

**返し：**本時の参加の様子だけでは決めない。学年の目標(3)を受け、単元を通した記録と見直しの理由を合わせて判断する。発言の多さや従順さを態度の評価にしない。

**指摘 7：**端末がない学級でもできるか。

**返し：**提案の構成メモは紙に記録できる。問題、事実、感想、提案、見込める変化とまだ確かめたいことを区別する。端末があれば書き直し前後を保存して比較する。道具の操作をA(1)イの評価の代わりにしない。

**指摘 8：**時間が足りないとき、どこを残すか。

**返し：**総時数の出典は光村図書出版の年間指導計画である。活動量を調整する場合も、本時の問いを自分で考える場面と、根拠を比べて記録を見直す場面は残す。A(1)イで目指す姿が確認できるように配当を組み直す。

**指摘 9：**自分で学校の新しい教科を作るのか。

**返し：**A(1)イの言語活動として提案する。学校の教育課程を変更する決定とは区別し、提案が採用されたかどうかを評価にしない。

**指摘 10：**振り返りを感想だけにしないためには。

**返し：**「提案の理由になっているのは、確かめた事実ですか、自分の感想ですか。聞く人が区別できる順序や言い方になっていますか」への答えを学習前後で読み比べる。変えた点に加え、理由を確かめて残した点も書く。A(1)イに関わる言葉の捉え方・使い方を記録する。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie\_ai\_katsuyo)  
[https://www.threads.com/@mie\\_ai\\_katsuyo](https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo)

LINEオープンチャット  
みえ先生ラボ

